Japan Bowling Congress

# JBCnews

since1970

【毎月１回１日発行・１部20円】

JBCニュース
第559号 平成３０年６月１日
昭和50年５月19日第三種郵便物認可

発行所
公益財団法人 全日本ボウリング協会
東京都港区芝４－４－10
サンライズ長井ビル8F 03(3452)4501
http://www.jbc-bowling.or.jp/

# 笑顔でBreak through

佐々木 智之

菅野 沙織

## NHK杯

## 第52回全日本選抜ボウリング選手権大会

２年前は涙の優勝だった佐々木智之。連覇を本気で狙った
昨年の悔しさを秘めて挑んだ今年は、満面の笑顔で戦いを締めくくりました。
６人が名を連ねた「優勝３回」の最多記録を破って、唯一無二の王者がここに誕生です。
自身２度目の優勝決定戦進出を果たした菅野沙織は、大学時代の猛練習で得たものが強みと語りました。
終始笑顔でいられる心の強さも得たいま、８年越しで頂点にたどり着きました。

写真協力 ボウリングジャーナル社

KING
OF
BOWLING

第51回
全日本シニアボウリング選手権大会

平成30年6月22日（金）～24日（日）

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援 愛知県
愛知県教育委員会
公益財団法人 愛知県体育協会
稲沢市
稲沢市教育委員会
稲沢市体育協会
稲沢市ボウリング協会
全国ボウリング公認競技場協議会
協力 公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団
主管 愛知県ボウリング連盟

GUINNESS WORLD RECORDS
世界最大のボウリング場
116レーン（長さ198.39m/650.88ft）
ギネス世界記録認定を受けた
「世界最大のボウリング場」で、
リニューアルされた
「プロレーン」をご堪能ください。

稲沢グランドボウル 〒492-8164 愛知県稲沢市井之口大坪町 80-1
TEL 0587-21-2131 FAX 0587-21-2133
www.grandbowl.jp/inazawa

GrandBowl

ＪＢＣニュースは、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています スポーツくじ toto BIG

第559号　（第三種郵便物認可）　JBCnews　平成30年6月1日　(2)

# 菅野沙織 神奈川 初戴冠 佐々木智之 神奈川 最多王者に

菅野沙織

写真協力　ボウリングジャーナル社

藤原聖佳

入江菜々美

石本美来

川崎未来

高平沙也斗

原口優馬

佐々木智之

女子入賞者

| 菅野沙織 | 女子優勝 | |
|---|---|---|
| | 神奈川県 | 29歳 |
| 主な戦績 | 第44回全日本選抜選手権大会 | 準優勝 |
| 使用ボール | Jackal Rising(15p) | |
| 公認ドリラー | 黒川　靖　（公認No. 0285-14） | |

## 女子の部

1回戦で尾上萌楓（山口）が男子のスコアをも上回る711（大会ハイシリーズ）をたたき出した。17ピン差で2位の石本美来（学連）は2回戦に645をマークして逆転。尾上に44ピン差をつけた。石本は3回戦も633とスコアを伸ばして、トータル2022。2位に浮上した入江菜々美（岐阜）に61ピン差をつけた。

準決勝に入り、石本は前半611、入江は626をマーク。3位以下は好不調が入り混じり、水谷秋穂（愛知）が切り替えて3位に上がったが入江には143ピンの差がついていた。後半3ゲームで石本と入江の差、入江と3位向谷優那（福岡）の差はまたさらに広がる結果となった。

石本の安定感は決勝でも。前半3ゲームを618とし、入江に116ピン差をつけた。入江も3位に浮上した菅野沙織（神奈川）に143ピン差をつけて進出圏内を十ブ。最後の3ゲームで石本は720と打ち上げて、トータルは4617（アベレージ219）の高スコア。石本、入江、菅野がまず通過を決めた。そして4名が10ピン差で最終ゲームを迎えた4位争いは、237をマークした藤原聖佳（神奈川）が制した。

エリミネーターで菅野はダブルと幸先のいいスタートを切ると、9本カウントのスペアをつなげていった。石本と入江はオープンフレームが先行する厳しい立ち上がり。藤原はミスなくゲームを進めていくと、7・8フレーム目のダブルで優位に立った。逆転を狙って石本も同フレームでダブルを決めたが後が続かなかった。藤原が186、菅野が183で勝ち上がりを決めた。

優勝決定戦、藤原は2フレーム目のオープンでリードを献上してしまう。菅野はスペアとストライクを交互につないでいたが、5フレーム目でついにダブル。なかなかストライクの出せない藤原を徐々に引き離していった。最大のピンチは9フレーム目、1・2・4・10番ピンを残した菅野だったが抜群のコントロールで難なくスペアを決めた。最後もダブルとした菅野は、8年前の準優勝を塗り替えてついにNHK杯を手にした。

## 男子の部

予選1回戦は本橋竜輔（東京）の699がトップで、予選通過ラインの40位が601。677で4位スタートした日濱太夢（大阪）は2回戦も687と1位に。2位には大会ハイシリーズの745をマークした和田翔吾（和歌山）が10ピン差で続いた。3回戦では4位につけていた佐々木智之（神奈川）が691。トータル1993まで伸ばしてトップ通過を決めた。2位の川崎未来（学連）はわずか1ピン差という大接戦で準決勝を迎えた。

準決勝前半3ゲームの時点でトップに立ったのは、またもや4位通過の高平沙也斗（愛知）。666にまとめて、佐々木を4ピン上回った。高平は後半3ゲームも654としたが、佐々木は691で再逆転。トータル3313（アベレージ220）と、要所を締めるかたちで最終日に突入した。

これに高平も応戦。決勝前半3ゲームで690と打ち上げた。佐々木は2ピン差の2位に。準決勝で3位に浮上してきた原口優馬（長崎）も299を含む718をマークして、佐々木と2ピン差に迫ってきた。そして最後の3ゲーム、688とした高平が首位を守り、佐々木、原口も順位をキープ。最後の1枠は学連の選手が激しく争った結果、川崎が獲得した。

ファイナルエリミネーターでは初めてストライクをつなげたのは高平。ターキーで2マークのリードを作った。それを追いかけて佐々木も9ターキーを決めたが、両者ともスプリットでスコアを落としてしまう。前半すっ飛ばされた原口を、佐々木も6・7フレーム目ダブルで差を詰め、原口を、佐々木も6・7フレーム目ダブルを決めて突き離した。何としてもストライクが欲しい原口の8・9フレーム目は10番ピンが残り、佐々木はスペアを決めていけばまず勝利という状況に。9フレーム目は10番ピンをスペア。10フレーム目は4本を残すが確実に倒して優勝を確信した。原口も最後はダブルとし、208対203で決着。佐々木は2年前には真逆の笑顔で、優勝の喜びを噛みしめた。

| 佐々木智之 | 男子優勝 | |
|---|---|---|
| | 神奈川県連盟 | 31歳 |
| 全日本ナショナルチームメンバー | | |
| 主な戦績 | 第40・46・50回全日本選抜選手権大会 | 優勝 |
| 使用ボール | Paradox Black(15p) | |
| 公認ドリラー | 佐々木智之　（公認No. 1549-14） | |

男子入賞者

女子H/G水谷、H/S尾上

男子H/G、H/S和田

## NHK杯 第52回全日本選抜ボウリング選手権大会　成績表

参加　248名（男子140名・女子108名）　　2018年5月18日（金）～20日（日）　埼玉・新狭山グランドボウル

### ファイナル（上位4名進出）

《男子》

1位通過　(4,638)　高平　沙也斗（愛知）　190
2位通過　(4,603)　佐々木　智之（神奈川）　206
3位通過　(4,538)　原口　優馬（長崎）　223
4位通過　(4,423)　川崎　未来（学生連合）　151

3・4位決定戦　第3位決定　佐々木　智之　203　第4位決定
優勝決定戦　208　優勝　佐々木　智之　2年ぶり4度目

《女子》

1位通過　(4,617)　石本　美来（学生連合）　166
2位通過　(4,370)　入江　菜々美（岐阜）　171
3位通過　(4,233)　菅野　沙織（神奈川）　193
4位通過　(4,210)　藤原　聖佳（神奈川）　196

3・4位決定戦　第4位決定　菅野　沙織　164　第3位決定
優勝決定戦　216　優勝　菅野　沙織　初優勝

### 最終結果

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 優勝 | 佐々木 | 智之 | （神奈川） | (ファイナル) |
| 第2位 | 原口 | 優馬 | （長崎） | (ファイナル) |
| 第3位 | 高平 | 沙也斗 | （愛知） | (ファイナル) |
| 第4位 | 川崎 | 未来 | （学生連合） | (ファイナル) |
| 第5位 | 小原 | 峰 | （学生連合） | 4,371 (21G) |
| 第6位 | 八木 | 歓良 | （学生連合） | 4,355 (21G) |
| ハイゲーム | 和田 | 翔吾 | （和歌山） | 289 |
| ハイシリーズ | 和田 | 翔吾 | （和歌山） | 745 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 優勝 | 菅野 | 沙織 | （神奈川） | (ファイナル) |
| 第2位 | 藤原 | 聖佳 | （神奈川） | (ファイナル) |
| 第3位 | 入江 | 菜々美 | （岐阜） | (ファイナル) |
| 第4位 | 石本 | 美来 | （学生連合） | (ファイナル) |
| 第5位 | 伊勢川 | 未愛 | （和歌山） | 4,185 (21G) |
| 第6位 | 水谷 | 秋穂 | （愛知） | 4,181 (21G) |
| ハイゲーム | 水谷 | 秋穂 | （愛知） | 279 |
| ハイシリーズ | 尾上 | 萌楓 | （山口） | 711 |

# NHK杯 第52回全日本選抜選手権大会が

NHK杯第52回全日本選抜選手権大会が5月18日(金)から20日(日)にかけて、埼玉・新狭山グランドボウル（公競No.112・0320）で開催された。出場資格を獲得した248名がNHK杯獲得を目指して集結。男子は佐々木智之（神奈川）が2年ぶり4度目の優勝で大会最多勝記録を塗り替えた。女子は菅野沙織（神奈川）が、8年前の準優勝という自身の成績を更新して初優勝を遂げた。

## 開会式

大会初日の5月18日(金)12時から開会式が執り行われた。前年度優勝者の斎藤佑太（神奈川）と武部公英（大阪）両選手からNHK杯が返還されて、いよいよ開幕の時を迎えた。

北川薫協会会長の挨拶を齋藤良太郎専務理事が代読し、（公社）日本ボウリング場協会・中里剛彦会長より祝辞を、狭山市・小谷野剛市長より歓迎のことばをいただいた。

競技規程説明・認証報告と審判団の紹介に続いて、斎藤・武部両選手による選手宣誓が行われ、開会式を滞りなく終了した。

日場協中里会長

狭山市小谷野市長

宣誓する斎藤（左）・武部両選手

## 日場協よりNHK杯の放映協力金

NHK杯第52回全日本選抜選手権大会のテレビ放映にあたり、（公社）日本ボウリング場協会より放映協力金が助成された。開会式上にて日場協・中里剛彦会長より目録が贈呈された。

日場協中里会長(左)より目録が

## 公認1000ゲーム連続達成者を表彰

JBC公認最多ゲーム（1000G以上）達成者にはNHK杯出場資格が付与される。1000Gを3年以上連続達成し、今大会に出場を果たした谷川昌司選手（千葉）に、開会式にて表彰状と記念品が贈呈された。

1000G3年連続達成の谷川選手

## NHK・Eテレで生中継

NHK・BSでは2時間放送

大会最終日、優勝決定戦はNHK・Eテレで生中継放送されて、実況はNHK秋山浩志アナウンサーが務め、全日本ナショナルチームの二地賀寿守監督が解説した。

翌週の5月27日(日)と6月30日(水)にはNHK・BS1でも、3位決定戦と優勝決定戦が2時間にわたって放送された。

生中継に臨む下地監督

## ガイド

全日本選抜選手権大会は平成元年の第33回大会からNHK杯が授与され、今年で30回目を迎えた。歴代優勝者や前回入賞者に加え、公式国際大会の日本代表選手まで、はじめてメダリスト、全日本ナショナルチームメンバー、協会主催大会の優勝者・入賞者、各地区選手権上位者、各地区代表と、前年度公認1000ゲーム達成者といった選手が出場資格を獲得して、今回は248名が出場した。

予選3ゲーム、準決勝6ゲーム、決勝6ゲームはいずれも、今大会から1ゲームごとレーン移動して行われた。ファイナルは21ゲームスコアの上位4名が進出。エリミネーター方式の3位決定戦は4名による1ゲームマッチで、スコア上位2名が勝ち上がる。優勝決定戦は1対1でゲームを行い、勝者がチャンピオンとなる。

これまで大会の最多優勝記録は3回で、男女合わせて人が到達。その一人でもあった佐々木智之が今大会で4度目の優勝を飾り、記録を更新した。

この大会はスポーツ振興基金の助成を受けて開催しています。

また大会中にはドーピング検査を、スポーツ振興くじ（toto）の助成を受けて実施しました。

スポーツくじ toto　BIG　スポーツ振興基金 独立行政法人日本スポーツ振興センター

## 連盟トピックス

### 石川県連盟 事務局移転しました

▽新事務局
〒921-8801
野々市市御経塚グランドボウル内
TELO76・249・0625 FAXO76・249・0626

## イベントカレンダー　6月&7月

▽6月1日(金)～3日(日)　第31回オールジャパンレディストーナメント　福島・ボウルアピア郡山
▽6月8日(金)～10日(日)　経済産業大臣杯第40回全日本実業団産業別選手権大会　富山・富山地鉄ゴールデンボウル
▽6月13日(水)　平成30年度定時評議員会　東京・仏教伝道センター
▽6月13日(水)　平成30年度第1回理事会　東京・仏教伝道センター
▽6月16日(土)　ボウリング教室（キャラバン隊・熊本）　熊本・パスカワールド王子店
▽6月17日(日)　ボウリング教室（キャラバン隊・佐賀）　佐賀・ボウルアーガス
▽6月22(金)～24日(日)　第51回全日本ジュニア選手権大会　愛知・稲沢グランドボウル
▽6月29日(金)～7月1日(日)　第55回東日本選手権大会　三重・津グランドボウル
▽6月29日(金)～7月1日(日)　第55回西日本選手権大会　福岡・博多スターレーン
▽7月7日(土)・8日(日)　JBC公認第3種審判員認定会（西日本地区）　大阪・イーグルボウル
▽7月23日(月)～25日(水)　文部科学大臣杯第42回全日本中学選手権大会　京都・キョーイチボウル宇治
▽7月24日(火)・8月3日(金)　第15回世界ユース選手権大会2018　アメリカ・ミシガン
▽7月30日(月)～8月1日(水)　JOCジュニアオリンピックカップ第42回全日本高校選手権大会　神奈川・川崎グランドボウル

### 協会評議員 川杉収二氏 逝去

協会評議員の川杉収二氏が5月10日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 訂正

JBCニュース5月号、記録だよりの第34回東海地区選手権大会・男子選手権者決定戦の6位の安田昇選手の表記に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。


## 第55回東日本ボウリング選手権大会

2018.6.29(金)▶7.1(日)

主　催　(公財)全日本ボウリング協会
後　援　(公財)三重県体育協会・津市教育委員会・津市スポーツ協会・全国ボウリング公認競技場協議会
主　管　三重県ボウリング連盟

津グランドボウル
〒514-0821　三重県津市大字垂水字下境915-1　TEL 059-227-7415

## 第55回西日本ボウリング選手権大会

2018.6.29(金)▶7.1(日)

主　催　(公財)全日本ボウリング協会
後　援　(公財)福岡県体育協会・全国ボウリング公認競技場協議会　福岡県公認ボウリング場協会
主　管　福岡県ボウリング連盟

ココロ、カラダ、元気！ STARLANES 博多スターレーン
〒812-0013　福岡県福岡市博多区博多駅東1-18-33　TEL 092-451-4321


## 賛助会員・特別法人・個人会員紹介

〈平成30年5月1日以降登録者〉

【特別法人会員】
▽岩手県　さいとう税理士法人本町事務所（代表社員吉田大生）

【特別個人会員】
▽北海道　岡村順一（JBC評議員、連盟理事長）
▽岩手県　吉田九生（連盟名誉会長）
▽青森県　幸林剛逸（連盟会長）、佐々木誠一（同副会長）、古川二司（同理事長）、鎌田修三（同副理事長）、山本治男(同)、鳥谷部エイ子、古比類倉正昭
▽群馬県　清水真人（連盟会長）、竹田達治（JBC評議員）、奈良純夫（連盟副会長）、奈島俊夫(同)、宮沢隆（同副理事長）、村田繁、星野仁夫、犬塚守人、高井良樹、黒崎成男、三浦信明、上野号史、神岡潔
▽新潟県　塚田芳久（JBC理事、連盟会長）、古俣豪樹（連盟副会長）、鈴木力正（同理事長）、諏訪間秀明（同副理事長）、池田和紀、佐藤修
▽富山県　平清清（JBC評議員、連盟副会長）、大島宗男（JBC理事、連盟理事長）、小倉啓二（連盟副理事長）、岩井親孝(同)、細野忠(同)、蔵下俊幸、古岡美保子、山口伸一、境明北嶋重雄、江幡芳一、久郷冬野、清水剛、士反治久、片井彰、三田隆代、角井不二子、安田幹夫、山本直美、堀祐賢、坪島文男
▽三重県　脇谷利男（連盟会長）、田口隆夫（JBC評議員、連盟理事長）、柳川弘子（JBC評議員、連盟副理事長）、深津憲治（連盟副理事長）、中川政紀、坪香吉宣、柳川穂波、渡辺良幸、栗林廉知子、西浦裕美子、仲廣秀康、鈴木隆博、落合朋克、吉川朋子、飯田剛
▽滋賀県　岸辺耀弥（JBC監事、連盟会長）、上田隆（連盟理事長）、田中一(同)、桑原敏弘(同)、橘弘佳（同副理事長）、池田彦、園田多華生、奥田徹、池本雅尚、野口修二、栗田昌伸、中川みち子
▽奈良県　米田忠則（連盟会長）、吉井嘉昭（同副会長）、麻田啓男（同理事長）、友廣徹也（同副理事長）、山中俊明(同)
▽鳥取県　生石和之
▽岡山県　加計孝太郎（連盟会長）、金宏利和（JBC理事、連盟理事長）、小見山知一（連盟副理事長）、立花敏春(同)、池田實（同顧問）、小阪佳弘、藤原治美、三原真、下口真一郎、小松大介、猪木信一
▽山口県　桑水耕造（連盟理事長）、檜垣和俊、石高彦、奥田多華生、奥田徹、池本雅尚、野口修二、栗田昌伸、中川みち子
▽奈良県　米田忠則（連盟会長）、吉井嘉昭（同副会長）、麻田啓男（同理事長）、友廣徹也（同副理事長）、山中俊明(同)
▽鳥取県　生石和之
▽岡山県　加計孝太郎（連盟会長）、金宏利和（JBC理事、連盟理事長）、小見山知一（連盟副理事長）、立花敏春(同)、池田實（同顧問）、小阪佳弘、藤原治美、三原真、下口真一郎、小松大介、猪木信一
▽山口県　桑水耕造（連盟理事長）、檜垣和俊、石高彦、奥田多華生、奥田徹、池本雅尚、野口修二、栗田昌伸、中川みち子
▽愛媛県　戒能潤之介（連盟会長）、原俊司（同副会長）、西森安正（JBC評議員、連盟理事長）、田中信安（連盟副理事長）、吉村康仁、西山中浩、穴見晋哉、檜垣真登、大西良太郎、吉田康人
▽福岡県　吉村和幸（連盟副会長）、宗像利裕（同副理事長）、山口佳秀、的野洋祐、大賀保文

〈順不同・敬称略〉

# ナショナルチーム強化合宿

## 長崎・大村で開催

We are Team JAPAN
ナショナルチーム通信

全日本ナショナルチームメンバー強化合宿が5月2日(水)から7日(月)にかけて長崎県で開催されました。大村市の大村Jボウル（公競№142-046）で投球練習を行い、諫早市にある長崎県立総合運動公園で筋力・体力UPのためのトレーニングを実施しました。

今回は全日本ナショナルチームメンバー、ユースナショナルチームメンバーに加え、ジュニアジャパンメンバーからも選抜された10名が参加しました。連日、午前中は2グループに分かれて、8月に迫ったアジア競技大会に出場予定の選手は投球練習、他のメンバーはトレーニングに臨みました。そして午後は全員そろって投球練習を行いました。2018年の公式国際大会で使用されるオイルパターンを試し、アジア競技大会で採用される新スコアリング方式での実戦練習に多くの時間が割かれました。

5月5日(土)には地元長崎県のボウラーとの交流会も開かれ、参加者・選手混成による7人チーム戦を楽しみました。また期間中は多くの方が練習の様子を観覧され、選手は応援を背中に受けてハードな練習を乗り切りました。

合宿開始前の5月2日(水)には協会役員が大村市役所を表敬訪問。園田裕史市長、吉野哲副市長のご歓迎をいただきました。2年連続となった長崎県大村市での強化合宿は、地元の皆様からの大きな声援とサポートにより、実り多いものとなりました。

合宿開催にご協力くださいました皆様に厚く御礼を申し上げます。

大村市園田市長（中央）、吉野副市長（右）を訪問

毎年恒例の強化合宿に選手45名が参加

アジア大会を想定した練習も

フィジカル面も鍛え抜きました

地元ボウラーとの交流で気持ちも新たに

## 「炎」がモチーフの3デザイン

2018新ユニフォームは

全日本ナショナルチームの2018年度版ユニフォームは、「炎」「火の鳥」がモチーフの3デザインです。

ハイスポーツ

赤・白・ネイビーのグラフィカルなデザインと陽炎のゆらめきが調和して、シャープに仕上がりました。

サンブリッジ

「青き炎」を直線的に表現。前面には立体的な火の鳥、背面は平面的な炎が描かれた、メリハリのあるデザインです。

アメリカンボウリングサービス

リアルな炎の中に翼を広げた火の鳥のシルエットが重なり、情熱と強さが表れています。

## ROUND1 グラチャン INFORMATION

JBC予選会

### チャンスは残りわずか!!

「ROUND1 GRAND CHAMPIONSHIP BOWLING 2018」JBC予選会は7月開催分（5会場）のエントリーを受付中です。7月9日には最終回となるJ22・大阪会場（9月8日開催）のエントリーも開始。全国大会出場のチャンスは残りわずかです。お早目のエントリーをお勧めします。

### 7月以降の予選会スケジュール

【7／2受付終了】
▽7月14日(土)　J17・北海道ラウンドワンスタジアム札幌・白石本通店

【7／9受付終了】
▽7月21日(土)　J18・東京②ラウンドワン南砂店
▽7月21日(土)　J19・広島ラウンドワン福山店
▽7月21日(土)　J20・福岡ラウンドワンスタジアム博多・半道橋店

【7／17受付終了】
▽7月28日(土)　J21・兵庫ラウンドワン新開地店

【7／9受付開始】
▽9月8日(土)　J22・大阪②ラウンドワンスタジアム堺中央環状店

各大会の要項・エントリー用紙はJBCホームページでダウンロードできます。
http://www.jbc-bowling.or.jp/gcb/